

北海道教育大学附属特別支援学校

令和5年度 公開研究協議会

研究主題：児童生徒一人一人の自己実現を
目指した授業実践に関する研究



小学部

「色を塗って
表現しよう」

自分が使いたい色や用具を選んで、自分らしい作品を作る中で願いの実現を目指します。



中学部

「陸上運動」

使用するバトンやバトンパスの仕方についてグループの中で考えを伝え合いながら練習します。バトンパスのフォーム改善を通して仲間に自分の考えを伝えることを目指します。



高等部

「一学期報告会」

一学期の様々な活動の中で生徒が五感で感じたことをまとめて報告します。「一番伝えたい」と感じた事柄を、様々な手法を用いて伝えることを目指します。

参加費
無料

申込み
期間

令和5年6月12日（月）～7月7日（金）

日時

令和5年7月22日（土）9:00～16:00

会場

北海道教育大学附属特別支援学校
（来校参加・ZOOMでの参加から選択）

内容

授業参観（小学部、中学部、高等部）、学部協議、基調講演

申込方法

下にある申込みフォームまたは本校HPからお申し込みください。

来校参加は
コチラ



ZOOM参加は
コチラ



連絡先： 北海道教育大学附属特別支援学校 担当：中村 耕太郎
TEL:0138-46-2515 FAX：0138-47-8729

本年度の研究概要

本校研究の目的

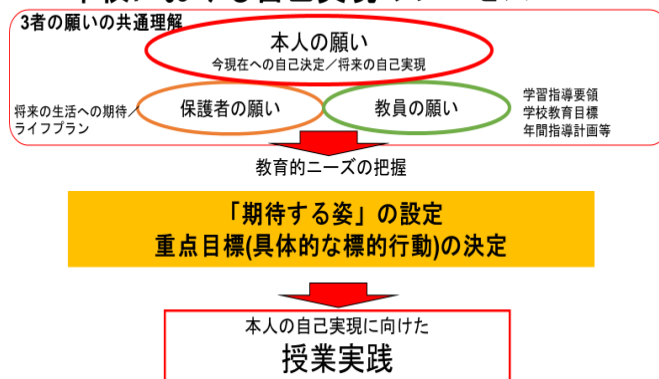
児童生徒や保護者、教員の願いの共通理解を図り、自己実現を目指した授業づくりのプロセスとその効果を明らかにする。

本研究では、児童生徒本人や保護者、教員の願いをもとに、期待する姿を設定し、児童生徒の自己実現を目指した授業づくりを行います。各学部が段階的に研究テーマを設定し、それぞれが授業づくりを行っています。小学部では授業の中での自己実現を目指します。中学部は集団生活での自己実現を目指します。高等部では自立と社会参加へ向けた自己実現を目指します。

本研究では児童生徒本人や保護者、教員の願いを共有する過程を大切にしています。そして、期待する姿に近づけるための重点目標を決定します。その際に用いられるのが自己実現シートです。自己実現シートとは、重点目標（一年後の期待する姿）に関する実態や、標的行動、指導場面、手立て、達成基準及び時期を記載し、一年間の本人の変容を捉えていくためのものです。

当日は各学部の捉える自己実現を目指した授業をぜひご参観ください。

本校における自己実現のプロセス



基調講演

演題：自閉スペクトラム症の児童生徒の行動問題の捉え方とその対応について（仮）

【野呂先生のご紹介】

専門分野：応用行動分析学、臨床発達心理学、特別支援教育

研究テーマ：応用行動分析学に基づく発達障害のある人やその関係者に対する効果的な支援方法の研究

職歴：2007年4月～2013年3月筑波大学准教授
2013年4月～現在 筑波大学人間系教授

書籍「特別支援学級での自閉症のある子どもの自立活動の指導」、「自閉スペクトラム症の心理とその支援」、「園での「気になる子」対応ガイド」など、子どもたちの指導・支援の更なる充実に向けた多数の著作に関わっています。基調講演では応用行動分析学の知見から子どもの見取り方や指導・支援の在り方などをご講演いただく予定です。



筑波大学 教授
野呂 文行 様